

環境ネットワークの環を広げよう!



NPO法人設立記念行事を開催

NPO法人設立記念行事「ひらかた発 環境ネットワークの環」を、6月4日、枚方市民会館集会室で開催しました。当日は会場いっぱいの会員の皆さまをはじめ、枚方市長、諸先生方にもご参加を頂き、ひらかた環境ネットワーク会議のNPO法人としての新たなスタートと、今後期待される役割について再確認しました。その後、懇親会を催し、会員間の親睦を深めるよい機会となりました。(2ページに関連記事)

目次

NPO法人設立記念行事	2
ブラックイルミネーション	3
各部会 & 運営委員会の活動	4
国際・水辺のマーケット	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(司電機産業株)	8

ひらかた発

NPO法人設立記念行事 「環境ネットワークの環」を開催

谷崎理事長より挨拶



NPO法人設立記念行事 大盛況にて開催

NPO法人設立記念行事「ひらかた発 環境ネットワークの環」を、6月4日(日) 枚方市市民会館集会室で開催しました。

定刻の午後1時10分に開会し、約60名の会員の方々と、来賓として中司宏枚方市長はじめ、ひらかた環境ネットワーク会議の顧問である京都大学地球環境大学院教授 植田和弘先生、NPO法人地域デザイン研究会理事長 平峯悠先生、大阪大学大学院工学研究科助教授 松村暢彦先生にご出席を頂きました。

まず、谷崎理事長より主催挨拶の後、中司市長

にご挨拶を賜りました。松村先生には「ひらかた環境ネットワーク会議に期待すること」というテーマで記念講演をして頂きました。その後、各部会の活動紹介を行い、第1部を閉会しました。

今後の活動に向け前向きな姿勢を再確認

第1部を終えた後、親睦を深めるため第2部として懇親会を開催しました。懇親会には約40名の方々が出席され、参加者からは「記念行事の盛況ぶりに今後の活動も期待できる」、「今後の問題点などを再確認できた」などの声が聞かれ、有意義なひとときを過ごしました。



懇親会で会員同士の親睦を深める

松村暢彦先生のご講演

記念講演として、大学の先生、ネットワーク会議の顧問、会員という立場から、「ひらかた環境ネットワーク会議に期待すること」というテーマでご講演して頂きました。期待することは、



ネットワーク会議が「観察者(枚方の環境を複合的な視点で眺めつづける)および架け橋者(住民と行政の架け橋)になること」であり、非常に感慨深いご講演でした。

中司市長の来賓挨拶

来賓挨拶として中司市長より、「人間愛、自然愛、郷土愛といった理念を持って、実のある色々な施策を展開する上で、平成18年度市政運営方針のなかでも述べているとおり、ネットワーク会議と協働して食育の問題やごみの問題等々に取り組んでいく」ことをお話されました。



ブラックイルミネーション2006 in ひらかた

6月17日(土) 今年もCO2削減の第一歩として「ブラックイルミネーション」を実施しました。ひらかた環境ネットワーク会議は「ライトダウンキャンペーン」として、午後8時～10時に市内の各家庭や事業者へ消灯を呼びかけました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの市民や事業者の皆さまが協力してくださいました。

★「ライトダウンキャンペーン」ステッカー

今年度は「ライトダウンキャンペーン」を広く皆さまに知ってもらおうと、キャンペーンステッカーを作成、配布しました。

来年度以降も継続して「ライトダウンキャンペーン」に参加し、ぜひ、このステッカーを集めてみてください。玄関に貼って、ご近所の方々へも呼びかけましょう！

(サイズ：80mm X 80mm)



ライトダウン川柳

ライトダウンをした時に感じたことを川柳にして頂き募集しました。ただいま、スタッフが選考に入っております。

優秀作品は7月下旬に、ひらかた環境ネットワーク会議ホームページ上にて発表し、図書カードを進呈します。たくさんのご応募ありがとうございました。

同じく6月17日(土)に予定していた「ひらかた灯路」は雨のため中止となりましたが、多くの皆さまから「ぜひ開催してほしい」というお声を頂き、日を改めて開催することになりました。 日時：7月21日(金)午後7時～8時30分

ライトダウンキャンペーン 参加・協力事業者、施設

- * 一級建築士事務所 作人(サクット)
- * 三洋電機株式会社
- * 京セラミタ株式会社 枚方工場
- * 司電機産業株式会社
- * 大阪油化工業株式会社
- * 株式会社ビオルネ
- * 有限会社花村産業
- * マイライフ新聞社
- * 大阪歯科大学
- * 関西医科大学

- * 関西外国語大学
- * 大阪国際大学
- * 摂南大学
- * 大阪工業大学
- * ひらかたパーク
- * メセナひらかた
- * ラポールひらかた
- * 穂谷川清掃工場
- * 枚方市水道局

(順不同、敬称略)

●各部会の活動

自然環境部会



随分整備されました！



写真の場所、どこかわかりますか？そうです。この間整備活動に取り組んでいるサダ東小学校林です。随分きれいに整備されたのがお分かりいただけますでしょうか？でも整備は進んでいるものの、地域に整備活動の輪は広がっていません。一生懸命、活動に繋がる種まきをしているのですが…いつか地域に緑地保全意識の芽が出て、きれいな花が咲く

ことを願いつつ。

7月に水辺のフィールドワーク「どんなかなー？市民参加の河川整備」を開催予定！詳しくはメールマガジン・ホームページにて、後日お知らせします。乞うご期待！



ごみ・エネルギー部会



市民共同発電所建設計画進む RESH 修了生の実践活動の場として期待

ひらかた自然エネルギー学校（RESH）運営WG：第2期RESHは9月から来年2月まで原則月1回の7回連続講座で、既に受講生および協賛団体を募集しています。昨年度第1期と同様、充実した内容となるよう準備・検討を重ねています。一方、行政と共に当WGメンバーにより、枚方市内での市民共同発電所建設計画が進められています。RESH修了生の実践活動の場として大いに期待されます。

生ごみ資源化WG：地域ごみ減量WGと生ごみ堆肥化WGが合体して生ごみ資源化WGと改称しました。生ごみおよび剪定枝の堆肥化、自然農法による野菜等の栽培、農産物の流通を核とする「食の市内循環：地産地消システム」の実証モデル構築を目指して、行政・関連財団法人・市内農家と共に調査・意見交換をしています。その一環で「自然農法塾」を開講予定。当WGは生ごみの堆肥化を主に担当します。

雨水モニターWG：府事業「おおさかレインボウぷろじえくと！」の中の雨水モニター活動として、雨水利用の普及活動をしています。雨水タンクなど設備の設置に関する情報提供をHP上で行う予定です。

公共交通部会



今年度も意欲的に活動します！！

牧野での実験結果を生かして、市営駐輪場を拠点としたレンタサイクルシステムの提案をします。この場合、維持管理の手間を考慮してノーパンクタイヤのレンタサイクルを用意し、費用はレンタサイクルに広告をつけることで賄う方針です。

くずは男山バスタウンマップは、今秋には史跡編やお店編を発行します。

サイクル アンド バスライド実施に向けて、検討チームを作ります。

【サイクル アンド バスライド】：都市の外縁部において車利用からバス利用へ誘導するため、バス停の付近に自転車駐車を整備する等により、バス利用者の利便性を向上させる施策です。

まちづくり部会



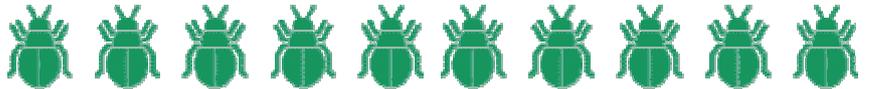
山之上小学校の校区安全マップ作りに協力

安全安心ワーキンググループは、6月10日(土)午前中、山之上小学校のPTAが進めている校区安全マップ作りに協力するため現地調査に参加しました。昨年度の樟葉西小学校の校区安全マップ作りへの協力の経験から、マップ作りの留意点などをアドバイスするとともに今後引き続き協力することになりました。

「ブラックイルミネーション2006 in ひらかた」は、6月17日(土)「ライトダウン」及び「ひらかた灯路」を予定していましたが、「ひらかた灯路」は残念ながら雨のため中止となりました。「ライトダウン」にご協力いただいた皆さま、「ひらかた灯路」のためにローソク作りやその他準備にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

秋の環境イベントを開催する予定です(詳細未定)。それに向けて力を合わせましょう。

環境教育サポート部会

地域に根ざした活動スタート！
コミュニティ協議会と部会が連携

枚二小では、今年度正課クラブにエコクラブを創設。この活動を環境教育サポート部会と枚二校区コミュニティ協議会が連携してサポートすることになりました。

きっかけは3つ、同協議会のエネルギッシュな取り組み、キーパーソン存在、昨年度の出前授業の実績です。年間を通して正課クラブにNPOが支援すること、さらにその支援がNPOと地縁組織の連携によること、二重の特長があります。参加児童は4~6年生の21名。校内の樹木の1本を「わたしの木」と定めて観察を開始。6月は地球温暖化の実験、環境マップ作成の予定です。



運営委員会



運営スタッフに新メンバー

昨年末より参加しています、廣田武司(ひろた・たけし)です。この5月娘も結婚し、又夫婦と老犬の生活になったところです。在職中は、海外関係を担当していました。自慢の健康もこのところかなり怪しくなってきましたが、少しでも皆様のお役にたてればと思っています。

参加して半年ばかりで、具体的な活動やメンバーの方々の様子も十分に理解できていませんが、当面できる限り各部会の行事等にボランティアとして参加し理解を深めたいと思っています。“ひらかた環境ネットワーク会議”は、4月から法人組織として新たな門出を迎えました。法人としていろいろな面で「自立」が不可欠の要素になるかと思っています。運営委員としてこの一翼を担うことが出来ればと思っています。

第 8 回 テクテクドンドン 国際・水辺のマーケットに出展しました！

5月14日(日) 枚方市淀川河川敷公園で松下電器産業労働組合、北河内連合市民懇話会主催で行われた、「第8回テクテクドンドン 国際・水辺のマーケット」に出展しました。前日からの雨で開催が危ぶまれていましたが、当日の朝には雨も上がり盛大に行われました。

出展内容は、自然環境部会は竹細工の展示・販売、公共交通部会・まちづくり部会はパネル展示、ごみ・エネルギー部会は自然エネルギーマップの展示、環境教育サポート部会は自転車発電の体験コーナーを催しました。



このマーケットはリサイクルイベントであり、単なる物品の販売だけではなく、人々が集い交流する意味が込められています。



当日は足元の悪い中でしたが、たくさんの方が訪れ、環境保全について一緒に考えたことと思います。

事務局を模様替えしました

6月14日(金) たくさんの方がお手伝いに来てくださり、無事に事務局の模様替え兼、大掃除が終わりました。皆さま、お忙しい中本当にありがとうございました。

皆さまが考えてくださったレイアウトは、つい、くつろぎたくなってしまう素敵な空間に仕上がりました。ぜひ、お忙しい活動の合間のひとときに、くつろぎの場、そして情報収集や情報交換の場として、ご利用下さい。

枚方市環境基本計画の検討会(勉強会)を実施してきました。

「ひらかた環境ネットワーク会議」は枚方市環境基本計画を推進するため、行政と協働してプロジェクトを企画、実行すると共にその活動を評価する事が大きな役割の一つとなっています。しかし諸般の事情で現在対応出来ていませんが、先ず平成13年策定の枚方市環境基本計画を理解すべく、行政(環境総務課)にも参加頂き、自然環境部会の立川会員を主査として、平成17年10月29日から合計5回の検討会を実施しました。その間、枚方市環境基本計画及び3年毎の実施計画の理解を深めると共に、現状の課題と対策の検討及び枚方市環境重要テーマについての意見交換等を行ってきました。検討会は当初の目的を達成しましたので平成18年4月19日開催の第5回検討会で終了しましたが、今後は「ひらかた環境ネットワーク会議」の中期事業計画も踏まえ、テーマを絞りながら「枚方市環境基本計画の第三次実施計画(平成19年度~21年度)」との連携のための具体的プロジェクトに取り組まなければなりません。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

くらわんか打ち水大作戦！！

みんなで一斉に打ち水をしましょう！

打ち水の目的は、「気温を下げる」ことや「省エネ」だけではありません。みんなの手と手で力を合わせれば、みんなが「優しくハッピーな気持ち」になれるのです。ご近所の方々と声を掛け合い、7月から9月の間は打ち水を実施しましょう。

一斉打ち水実施日：7月21日（金）

時間：午後4時～4時15分

場所：宮之阪商店街通および枚方市内全域

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局まで申し込みください。

「環境のへえ～」 Vol.9

『ポジティブリスト制度』

残留農薬の規制を強化した新しい制度（ポジティブリスト制度）が、スタートしています。

食品中に残留する農薬、飼料添加物・動物用医薬品について、一定の量を超えて、農薬等が残留する食品の販売等を原則禁止するものです。

これまでの「食品衛生法」では、農薬250品目、飼料添加物と動物用医薬品33品目で残留基準が設定されていましたが、これ以外の基準がなく、設定されていない農薬等が検出された場合、販売禁止などの措置を行うことができませんでした。今回の改正法では、新たに549品目に基準を設定、基準のない農薬や飼料添加物などでは、一律0.01ppm以下に制限。残留基準を超えて食品中に残留する場合、その食品の販売等が禁止となります。

検査対象の農薬が大幅に増え、コストや時間がかかるようになったため、混乱も生じていますが・・・食品の安全性を確保する取り組みが確実に進むことが期待されます。

< 30秒で読む環境情報！ >

ひらかた自然エネルギー学校

第2期 受講生募集！

「ひらかた自然エネルギー学校」では、各分野のエキスパートを講師に迎え「体験、創造、実践」をキーワードにワークショップや見学を取り入れたプログラムを通して、太陽光や風力、小水力、雨水、バイオマスなどの自然エネルギー利用と普及の方法について学び、家庭や地域での実践を考えます。

ともに第一歩を踏み出しましょう！

講座日程など詳細・お申し込み等は、事務局までお問い合わせ下さい。

校期：平成18年9月～平成19年2月 全7回

時間：午後1時30分～4時30分

（第3回のみ午前10時～午後4時30分）

会場：ラポールひらかた（京阪枚方市駅北側徒歩すぐ）

募集人数：30名

受講料：一般1万円、会員9千円（教材費等）

受講資格：枚方市内在住・在勤・在学の18歳以上、原則全講座受講できる方

会員数262名：正会員 208名（個人170、非営利団体22、営利団体16）

賛助会員 54名（個人48、非営利団体3、営利団体3）

平成18年7月1日現在

団体紹介 コーナー

司電機産業(株)

創立：1956年

社長：三好 國司

<http://www.tsukasa-denki.jp>

私たちは、クリーンな地球環境を子孫に残そうと日夜、努力を続けています。

「地球環境に優しく」を狙いに、ビル壁面に太陽光発電システムを設置し、国際的にも注目を集めることになった自社ビル



環境保全のため世の中のあるべき姿勢を示したい

明日へ繋がる環境エネルギーを創造する太陽電池ビルとして（前壁面アモルファス太陽電池、側面多結晶カラー太陽電池発電量 8.1KW）平成5年に世界に先駆け竣工させ、世界中より見学者が訪れ多くのマスコミに取り上げられた建物です。

その後国の補助金施策もあり、太陽光発電システムは多くの一般家庭に普及しました。

今後も更に普及する事を祈念すると同時に、環境都市枚方に草の根運動として「市民発電所」が建設されれば、素晴らしい事ではないかと思えます。

子供にも親しみやすい環境教育を

目で見て、手でさわって、太陽電池を体験できる、環境教育用に製作した機関車。イベントにて子供たちに楽しんでいただいております。



他に太陽の日射量に応じて水の高さが上下する噴水もあります。

<社長より> 天災等にて、ライフラインが途切れたときにも使用できる独立電源を提案すると共に、NPO法人北河内エコエナジーでは微風でも発電する風力発電機の開発・商品化を進めております。常に枚方市を環境都市として先導している、ひらかた環境ネットワーク会議の趣旨に賛同して参加しており、今回、NPO法人として設立されたことは非常に意義が深いと考えます。

編集後記

NPO法人設立記念行事も無事に終わり、会報も今回でNPO法人になってから2回目の発行となりました。

これからは、会員同士の交流も会報にて行いたいと考えております。年4回発行ですが、みんなでつくる会報誌にするために、皆様どうぞ、どしどしご意見、ご要望をお寄せ下さい。

また、会員のみんなに聞いて欲しいと言うことがありましたら、ぜひ、事務局へメール、FAX、お手紙等でお寄せ下さい。お待ち申し上げております。これからも、皆様のご協力、よろしくお願いいたします。（小篠記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第10号

平成18年7月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

